

第 139 回塑性加工学講座 「鍛造加工の基礎と応用」

日 時：平成 26 年 12 月 15 日（月）～12 月 16 日（火）

会 場：東京電機大学 [東京都足立区千住旭町 5 番地] アクセスマップ：<http://web.dendai.ac.jp/access/tokyosenju.html>

交 通：北千住駅東口(JR 常磐線, 東京メトロ日比谷線, 東京メトロ千代田線, 東武伊勢崎線)から徒歩 1 分

主 催：日本塑性加工学会（実行：鍛造分科会）

協 賛：軽金属学会, 精密工学会, 日本機械学会, 型技術協会, 日本アルミニウム協会, 日本鉄鋼協会, 自動車技術会, 日本鍛造協会, 日本ねじ工業協会, アルミニウム鍛造技術会

趣 旨：競争力のある鍛造品を開発し生産をするためには、最適な鍛造工程設計と高能率で安定した生産の実現が重要です。そのためには金型材, 被加工材, 潤滑, 鍛造設備そして鍛造シミュレーション技術に至るまで幅広い知識が必要となります。本講座では 8 月に開催した「第 201 回塑性加工技術セミナー わかりやすい鍛造・基礎セミナー（演習付き）」を受講された方や鍛造の実業務に必要な知識を習得したい方を対象に、鍛造加工に関する講義を実施します。

プログラム：開会の辞（9：20～9：30）

日本塑性加工学会鍛造分科会主査 五十川幸宏君

司会

12 月 15 日（月）

名古屋工業大学 北村 憲彦君

12 月 16 日（火）

コマツ産機 山道 顕君

時 間	内 容	講 師	
12 月 15 日 （月）	9:30～11:00	鍛圧技術における最近の進化と可能性: 歯車鍛造などの精密鍛造, 板鍛造や中空鍛造など軽量化鍛造, サーボプレス応用の新潤滑法, 金型寿命予測, 超硬合金金型の直彫り, 金型コーティングなど最近の話題を説明する。	大阪大学名誉教授 小坂田宏造君
	11:10～12:40	鍛造用潤滑剤について: 冷間鍛造において, りん酸塩・石鹼処理は熟成した技術として確立している。本講座では, この技術の基礎と問題点を解説し, さらに代替となる環境対応型の一工程潤滑システムについて説明する。	日本パーカライジング(株) 小見山 忍君
	12:40～13:40	昼 食 ・ 休 憩	
	13:40～15:10	鍛造用鋼材: 自動車部品のコスト低減要望に対応して開発した熱処理が省略可能な非調質鋼や, 工具寿命が良好な冷鍛性改善鋼を紹介する。さらに, 遅れ破壊特性や磁気特性の良好な高機能冷鍛用鋼について事例紹介する。	(株)神戸製鋼所 並村 裕一君
	15:20～16:50	金型用鋼材の特徴と種類: 塑性加工用の金型の分類, 適用される表面処理の特徴を紹介し, 鍛造方法に応じた材料や表面処理の選択方法・考え方を説明する。また, 最近の金型寿命改善事例についても触れる。	日立金属(株) 阿部 行雄君
12 月 16 日 （火）	9:30～11:00	金型への表面処理技術: 塑性加工用金型に適用可能な各種表面処理の特徴とそのトライボ特性について基礎実験から実例まで紹介するとともに, その特性を発揮させるための実用上の留意点について述べる。	岐阜大学 土屋 能成君
	11:10～12:40	鍛造CAEの基礎: 有限要素法による鍛造解析について数値解析の基礎的な考え方と実際に解析と付き合っていく上での注意事項について解説する。	日本工業大学 瀧澤 英男君
	12:40～13:40	昼 食 ・ 休 憩	
	13:40～15:10	精密冷間鍛造に必要な基礎知識: 精密鍛造と高付加価値を生むネットシェイプ成形を成功させるには, 基礎になる技術知識や鍛造工法の考え方が重要である。それらを最近の事例に合わせ説明する。	(株)ケイ&ケイ 安藤 弘行君
	15:20～16:50	温・熱間鍛造の実例: 自動車部品における, 熱間鍛造技術の応用例や複合鍛造（熱間鍛造, 機械加工, 冷間鍛造）についても紹介し, その実例をもとにした製品設計, 工程設計, 金型設計の留意点について述べる。	(株)メタルアート 岡嶋 一晃君

定 員：80 名（定員になり次第締切ります。）

参 加 費：

参加日数	会員・協賛学会員 （個人会員）	学生会員	非会員
2 日間	25,000 円	12,500 円	40,000 円
1 日間	20,000 円	10,000 円	30,000 円

・1 日だけの聴講も受け付けます。但し, テキストは 2 日間通しのものを使用いたします。必ず受講希望日を記入してお申し込みください。

・テキストのみの領布はいたしません。

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事のご案内】のページよりお申し込みください。参加券, 請求書等をお送りします。

注 意：本講座の参加者に対する宿泊施設などの斡旋は一切行っておりませんので, 各自でご手配ください。昼食は各自でお願いします。講演中の撮影・録音は禁止します。